

横浜文化体育館再整備における事業者公募に向けて 企業等の皆さまとの「対話」を実施します

～ サウンディング調査の実施 ～

横浜市では、平成 32 年度に予定されている横浜市庁舎の移転を契機とした関内駅周辺地区の活性化に向けた様々な取組を進めているところです。

そのリーディングプロジェクトである横浜文化体育館再整備については、当該地区のまちづくりに貢献できる施設とするため、現横浜文化体育館敷地及び旧横浜総合高校敷地の 2 つの土地を活用し、企業等の皆さまとの公民連携によって事業を行うことを検討しています。

つきましては、事業手法を検討するにあたって、市場の動向や民間事業者の意向等を把握するため企業等の皆さまとの対話を実施し、公募に向けた条件整理に役立てたいと考えますので、是非ご参加くださるようお願いいたします。

● 対話の実施（アイデア及びノウハウの保護のため、対話は個別に行います）

（1）日時・場所

平成 26 年 12 月 1 日（月）～12 月 15 日（月）の 30～60 分程度

市役所会議室（関内駅周辺）

（2）対象者

企業等の皆さま（事業の実施主体となる意向を有する法人 若しくは 法人のグループ
又は 民間施設へ入居の意向を有する法人）

（3）対話の内容及び実施方法

次ページ以降参照

● 対話参加の申込み 及び 対話資料の提出（対話への参加条件）

別紙「エントリーシート」及び「様式 1～6」に可能な範囲でご記入の上、Eメールに添付し、期間内に下記の申込先へご提出ください。なお、件名は【対話申込】としてください。

< 申 込 先 > 横浜市市民局スポーツ振興課

Eメール：sh-buntaisaiseibi@city.yokohama.jp

< 申 込 期 間 > 平成 26 年 11 月 17 日（月）～11 月 21 日（金）17:00 まで

● 事前説明会の開催（事前申込制）

再整備の考え方及び対話の実施方法について、事前の説明会を開催します。参加を希望される方は、期限までに上記の申込先へEメールで申し込んでください。なお、件名は【説明会参加】とし、参加人数・法人名・ご連絡先をお知らせください。

< 日時・場所 > 平成 26 年 10 月 31 日（金）14:00～15:30

横浜市庁舎 8 階 802 会議室（横浜市中区港町 1 丁目 1 番地）

< 申 込 期 限 > 平成 26 年 10 月 30 日（木）17:00 まで

I 市の考え方 及び 事業用地の情報

1 横浜文化体育館再整備に向けた市の考え方

横浜市では、平成 32 年度に予定されている横浜市庁舎の移転を契機とした関内駅周辺地区の活性化に向けた様々な取組を進めているところです。

現在の横浜文化体育館は、しゅん工から 52 年が経過して老朽化が進んでおり、また、サブアリーナがないこと等、国際的なスポーツ大会等に対応するための機能面の課題があります。さらに、市民の武道振興のため武道大会が開催できる場の確保も必要です。

これらの状況を踏まえ、関内駅周辺地区の活性化に寄与し、横浜の新たなスポーツ振興の核となることを目指して、「アリーナ施設」と「武道館機能を備えたサブアリーナ施設」からなる横浜文化体育館再整備を公民連携事業で行うことを検討しています。

「アリーナ施設」については、国際的なスポーツ大会等の他、コンサート等の興行にも対応することにより収益性が見込めることから、民間事業として進めることを前提に検討を進めます。また、「サブアリーナ施設」については、主に市民スポーツ等利用の拠点的機能であることから、民間資金を最大限活用した事業スキームの構築を検討します。同時に、両事業用地とも余剰地・容積を活用した民間施設の誘導を行います。

※ まちづくりの考え方については、「関内・関外地区活性化推進計画（平成 22 年 3 月策定）」及び「新市庁舎整備基本計画（平成 26 年 3 月策定）」の「8 関内・関外地区のまちづくり」をご参照ください。

- ・「関内・関外地区活性化推進計画」
〈URL〉 <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/kasseika/>
- ・「新市庁舎整備基本計画 8 関内・関外地区のまちづくり」
〈URL〉 <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/kannaiekisyuhen/pdf/keikakubasui.pdf>

2 事業用地の情報

(1) 現横浜文化体育館敷地

所在地	中区不老町 2 丁目 7 番地
土地面積	11,014.23 m ²
都市計画による制限	商業地域（容積率 500%・建ぺい率 80%） 第 7 種高度地区、防火地域
地域まちづくりの計画	大通り公園周辺地区街づくり協議地区
土壌汚染の有無	公募前に調査予定

(2) 旧横浜総合高校敷地

所在地	横浜市中区翁町 2 丁目 9 番地 10 ほか
土地面積	8,267 m ²
都市計画による制限	商業地域（容積率 500%一部 600%・建ぺい率 80%） 第 7 種高度地区、防火地域
地域まちづくりの計画	大通り公園周辺地区街づくり協議地区
土壌汚染の有無	公募前に調査予定

3 現在の横浜文化体育館の概要

(1) 施設運営状況

規 模	鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積 9,679.14 m ²
開 場	昭和 37 年 5 月
アリーナ	1,920 m ² (40m×48m×高さ 13m)
観 覧 席	2階：1,723 席 3階：504 席 計 2,227 席 (ほか仮設席 約 3,000 席可能)
そ の 他	トレーニングルーム 143 m ²
会 議 室	平沼記念レストハウス (昭和 39 年 8 月増築) 特別室 50 m ² 1号室 72 m ² 2号室 80 m ² 3号室 80 m ² 4号室 65 m ²
運 営	公益財団法人 横浜市体育協会 (指定管理者制度)
利用時間	原則 9:00～22:00 (休館日 12 月 29 日～1 月 3 日)
利用条件	100 名以上の大会開催等の団体利用
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ジュニア体操競技大会 ・ジャパンオープン・荻村杯 (国際卓球選手権横浜大会) ・ポリショイサーカス ・大相撲横浜場所 ・ゆずコンサート ・小田和正コンサート ・1964 年東京オリンピック競技大会 (バレーボール会場)

(2) 稼働率、利用人数

	利用可能日	利用日	稼働率	利用者数		
				合計	アリーナ	平沼記念 レストハウス
平成 21 年度	347 日	343 日	98.8%	409,407 名	345,374 名	64,033 名
22 年度	328 日	325 日	99.1%	404,137 名	347,287 名	56,850 名
23 年度	345 日	339 日	98.3%	432,540 名	366,429 名	66,111 名
24 年度	346 日	339 日	98.0%	466,422 名	407,456 名	58,966 名
25 年度	265 日	260 日	98.1%	384,848 名	337,314 名	47,534 名

※ 平成 25 年度は改修工事のため、25 年 12 月～26 年 2 月休館

(3) 収支状況

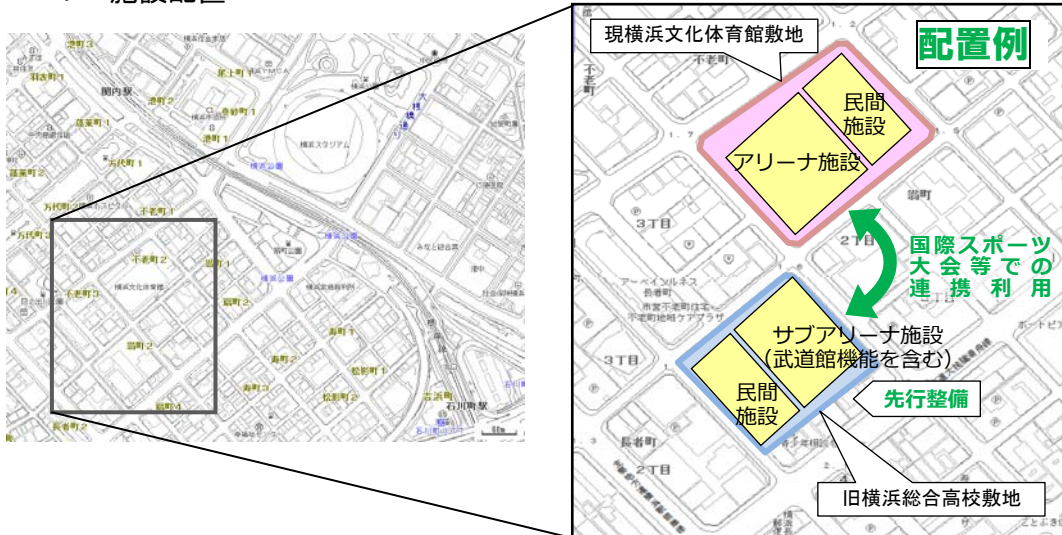
別紙 1

(4) 利用料金

別紙 2

II 対話にあたっての前提条件 (対話のため市が想定したものであり、決定ではありません)

1 施設配置



2 アリーナ施設 及び サブアリーナ施設 (武道館機能を含む) の規模・機能

(1) アリーナ施設

国際的なスポーツ大会やコンサート等の興行利用にも対応できる規模・機能の確保

【アリーナの想定規模】

アリーナ面積： 2,000～2,500m²程度

観 覧 席： 固定席 2,500～3,000席程度、可動席 2,000席程度

(2) サブアリーナ施設 (武道館機能を含む)

- ① 現横浜文化体育館のアリーナ機能 (市民スポーツ等利用の拠点的功能) を移行・確保
- ② 新たに整備するアリーナ施設のサブアリーナ機能を確保
- ③ 武道団体からの要望が高い、市内の武道大会等に対応できる武道館機能を確保

【アリーナの想定規模】

アリーナ面積 2,000～2,500m²程度

観 覧 席： 固定席 500～1,000席程度、可動席 1,000～1,500席程度

【武道場の想定規模】

武 道 場： 4面 (床・畳併用型、間仕切可)

観 覧 席： 固定席 500席程度

3 まちづくりに寄与する民間施設の誘導

両事業用地内に誘導する民間施設は、横浜文化体育館と一体的に整備することにより効果を発揮するものとします。すなわち、体育館との親和性が良く相乗効果を発揮するものであり、かつ、関内駅周辺地区の賑わいやまちづくりに貢献でき波及効果を発揮するものとしてください。これらの誘導用途を主とし、一部に住宅を導入する場合でも、社会的課題に資するものとしてください。

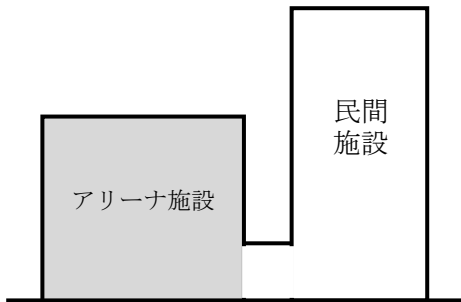
民間施設の誘導については、これまで「横濱まちづくりラボ」においてアイデアの積上げを行っています。詳しくは、横濱まちづくりラボ ホームページをご参照ください。

<URL> <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/machilab/>

また、当該施設が立地する地域では、東日本大震災を契機にした防災、減災に対する意識の高まりや学校の統廃合に起因する防災拠点の移転などを背景に、安全で、住みやすく、安心な暮らしのできるまちづくりを進めるための防災機能や医療機能の強化が求められています。

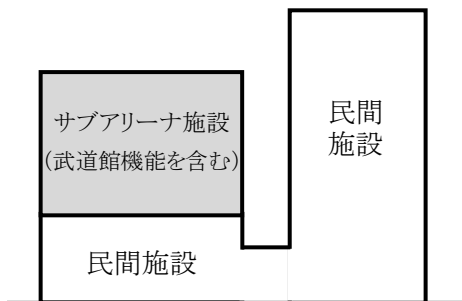
4 事業スキーム【例】（対話のため市が想定したものであり、決定ではありません）

(1) 現横浜文化体育館敷地



- ① 現横浜文化体育館敷地に定期借地（最大 50 年）を設定
- ② 事業者は、市と「定期借地契約」を締結後、アリーナ施設と民間施設を一体的に建設し、管理運営する。
- ③ 両施設は民間所有とし、借地期間終了後は更地返還する。
- ④ アリーナ施設は、事業者による興行利用を基本とし、市は利用する日数分を有償で借り上げ（市利用枠）、国際スポーツ大会等を開催する。

(2) 旧横浜総合高校敷地



- ① 旧横浜総合高校敷地に定期借地（最大 50 年）を設定
- ② 事業者は、市と「サブアリーナ施設の建設に関する契約」と「定期借地契約」を締結後、サブアリーナ施設と民間施設を一体的に建設する。
- ③ サブアリーナ施設は、完成後に市所有（市が対価を 20 年分割払いで支払う）とし、管理運営は事業者を指定管理者として指定し実施する。
（サブアリーナ施設と民間施設を合築する場合、サブアリーナ施設部分を市が区分所有する）
- ④ 借地期間終了後は更地返還とする。その際、区分所有建物の解体は事業者が行い、市は区分所有の割合に応じて費用負担する。

※ サブアリーナ施設と民間施設は、容積率を最大限活用するため同一敷地内に一体的に建設する。

【 共通事項 】

- ① 事業者の公募は両事業用地一体で行い、両施設を総合的に計画する。
- ② 整備は段階的に行うこととし、旧横浜総合高校敷地の整備を先行し、現横浜文化体育館の機能（市民スポーツ等利用の拠点）を継続させる。
- ③ 旧横浜総合高校敷地の施設供用開始時期は、関内駅周辺地区活性化の観点から、市庁舎移転時期（平成 32 年 6 月予定）を踏まえて設定する。
- ④ アリーナ施設とサブアリーナ施設は、国際スポーツ大会等開催時に両施設を一体利用することを想定し、同一事業者が管理運営を行う。

III 対話内容（当日の対話において、お聞きしたいと考えている事項です）

主に以下の項目について、ご回答いただける範囲で、ご意見・ご提案をお聞かせください。なお、自らが事業に関わることを前提とし、実現可能なご意見・ご提案をお願いします。

併せて、当該事業の市場性や施設運営上の課題等、今後の公募に関連する事項や、公募条件において市に配慮して欲しいこと等があれば、ご意見をお聞かせください。

また、対話の際には、事前に提出いただいた様式に沿って、ご説明をお願いします。

●事業の実施主体となる意向を有する法人 又は 法人のグループ

様式1～5にご記入ください。

項目		内容	様式
事業 スキーム	1 事業実施の 体制	(1) どのような事業実施の体制（SPCの設立、コンソーシアム等）を想定されているか、ご教示ください。	様式1
	2 現横浜文化 体育館敷地 について	(1) どのような興行利用が考えられますか。 (2) 望ましい借地期間は、何年間ですか。また、定期借地方式が望ましくない場合は、その理由とその他の手法についてご教示ください。 (3) アリーナ施設を民間所有として管理運営を実施することが困難と考える場合、その理由についてご教示ください。また、その他のアイデアがあればご教示ください。 (4) 民間施設の用途・規模・配置、その相乗効果・波及効果についてご教示ください。（配置については、旧横浜総合高校敷地と合わせて別途提示も可） (5) 市利用枠について、市に求める「年間の買取り日数 及び 金額」の想定をご教示ください。	
	3 旧横浜総合 高校敷地につ いて	(1) 望ましい借地期間は、何年間ですか。また、定期借地方式が望ましくない場合は、その理由とその他の手法についてご教示ください。 (2) サブアリーナ施設部分の建設費の延払いについて、考えられる手法や条件等をご教示ください。 (3) サブアリーナ施設と民間施設を一体的に建設することが困難と考える場合、その理由についてご教示ください。また、その他のアイデアがあればご教示ください。 (4) 民間施設の用途・規模・配置、その相乗効果・波及効果についてご教示ください。（配置については、現横浜文化体育館敷地と合わせて別途提示も可）	

		<p>(5) サブアリーナ施設の想定される建設費（㎡単価）を次のア～オから選択してください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ア</td> <td>30万円／㎡未満</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>30～40万円／㎡</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>41～50万円／㎡</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>51～60万円／㎡</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td>61万円／㎡以上</td> </tr> </table>	ア	30万円／㎡未満	イ	30～40万円／㎡	ウ	41～50万円／㎡	エ	51～60万円／㎡	オ	61万円／㎡以上	
ア	30万円／㎡未満												
イ	30～40万円／㎡												
ウ	41～50万円／㎡												
エ	51～60万円／㎡												
オ	61万円／㎡以上												
4 管理運営	(1) アリーナ施設とサブアリーナ施設の効果的な連携方法についてご教示ください。	様式 2											
5 事業スケジュール	<p>(1) 旧横浜総合高校敷地を先行整備し、後から現横浜文化体育館敷地を整備すると想定した場合のスケジュールについてご教示ください。</p> <p>(2) 両事業用地での一体事業が困難と考える場合は、その理由と望ましいスケジュール等についてご教示ください。</p>	様式 3											
6 周辺まちづくりへの貢献	(1) 当該事業用地に留まらず、周辺地区との関係や地域貢献の考え方をご教示ください。	様式 4											
7 想定案以外のアイデア	<p>(1) 想定案以外で、アリーナ施設・サブアリーナ施設・民間施設の配置イメージがあればご教示ください。</p> <p>(2) その他のご提案等があればご教示ください。</p>	様式 5											

●民間施設へ入居の意向を有する法人

様式 6 にご記入ください。

項目	内容	様式
8 入居条件等	<p>(1) 民間施設の用途・規模・配置、その相乗効果・波及効果についてご教示ください。</p> <p>(2) 施設所有が可能か、テナントの場合の契約年数等、入居の条件についてご教示ください。</p> <p>(3) 当該事業用地に留まらず、周辺地区との関係や地域貢献の考え方をご教示ください。</p> <p>(4) その他のご提案等があればご教示ください。</p>	様式 6

IV 留意事項 (必ずご確認の上、お申し込みください。)

1 参加の扱い

対話への参加実績は、事業者公募における評価の対象とはなりません。

2 対話に関する費用

対話への参加に要する費用は、参加企業等の負担とします。

3 追加対話への協力

必要に応じて追加の対話(文書照会含む)を行うことがありますので、ご協力をお願いします。

4 実施結果の公表

- ・対話の実施結果については、概要を市ホームページ等で公表します。
- ・公表にあたっては、事前に参加企業等に内容の確認を行います。
- ・参加企業等の名称は、公表しません。

～ 横浜市のサウンディング調査について ～

保有資産の有効活用に向けて横浜市が実施する企業等の皆さまとの対話(サウンディング調査)に関する情報は、横浜市政策局共創推進課ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

また、共創推進課から企業等の皆さま向けに、公民連携の取組に関するメールニュースを不定期で配信しています。同ページから登録できますので、是非ご利用ください。

〈URL〉 <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/pre/>

事務局・お問合せ先

担 当	横浜市 市民局 スポーツ振興課
住 所	横浜市中区港町2丁目6番地 横浜関内ビル3階
電 話 / F A X	045 (671) 3286 / 045 (664) 0669
E メ ー ル	sh-buntaiseibi@city.yokohama.jp
ホームページ	http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/sports/buntai/

横浜文化体育館 収支決算

収入

(円)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①利用料金収入	79,909,803	73,562,649	65,717,162
②駐車場事業収入	17,397,700	14,891,300	14,293,010
③教室事業収入	30,506,300	29,590,050	17,467,950
④広告業務収入	1,200,000	1,757,413	1,665,750
⑤指定管理経費	68,790,000	67,790,000	76,034,532
⑥雑収入			820,409
(⑦自主事業還元収入)	7,941,383	11,990,315	8,980,648
小計(①+②+③+④+⑤+⑥)	205,745,186	199,581,727	184,979,461
⑧自主事業による収入	14,875,971	17,159,448	14,855,279
項 目			
教室事業	2,535,600	2,983,700	1,680,400
飲食事業	0	0	0
物販事業	7,362,328	7,437,781	6,253,259
駐車場事業	650,766	570,800	775,500
その他(基本時間外利用料等)	4,327,277	6,167,167	6,146,120
合計(①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	212,679,774	204,750,860	199,834,740

支出

(円)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①維持管理運営費用	180,339,120	182,361,686	163,311,768
項 目			
人件費	59,302,669	51,644,071	54,396,904
修繕費	7,481,271	10,390,180	7,618,556
設備管理費・保安警備費	8,561,049	37,535,745	34,546,712
備品購入費・消耗品費	5,580,632	6,068,414	5,515,739
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	461,226	578,002	575,191
広報費・印刷製本費	1,355,850	1,063,670	859,950
光熱水費・燃料費	18,705,754	22,170,600	21,493,257
保険料	1,465,924	1,325,721	970,203
使用料・賃借料	9,207,565	9,443,352	6,554,116
委託料・謝金	57,285,759	31,699,803	22,759,020
公租公課	3,057,434	2,314,231	1,626,002
雑支出			47,900
その他	7,873,987	8,127,897	6,348,218
②自主事業による経費	12,355,407	17,153,448	14,855,279
項 目			
教室事業	2,160,139	2,257,892	2,079,744
飲食事業	0	0	0
物販事業	1,139,460	1,188,170	1,108,555
駐車場事業	0	0	0
雑支出			538,000
その他	1,114,425	1,717,071	2,148,332
(自主事業還元支出)③	7,941,383	11,990,315	8,980,648
合計(①+②-③)	184,753,144	187,524,819	169,186,399

横浜文化体育館

1 貸切利用料金一覧 ※金額は税込

(円)

利用区分 ※1	時間帯	午前9時から 正午まで	正午から 午後5時まで	午後5時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで		午前9時から 午後10時まで	
アリーナ 入場料を徴収しない場合 徴収する場合	スポーツ練習	平日	3,400	5,100	7,600	8,500	12,700		16,100
		土日祝	4,000	6,100	9,100	10,200	15,200		19,300
	スポーツ大会	平日	16,500	22,500	28,500	34,500	45,000		57,000
		土日祝	19,800	27,000	34,200	41,400	54,000		68,400
	各種集会	平日	18,800	25,600	32,400	39,300	51,300		64,900
		土日祝	22,500	30,700	38,800	47,100	61,500		77,800
	営業宣伝	平日	45,600	61,500	79,800	95,700	127,600		159,600
		土日祝	54,700	73,800	95,700	114,800	153,100		191,500
	有料非興行	平日	59,200	77,500	125,400	134,500	182,400		223,400
		土日祝	71,000	93,000	150,400	161,400	218,800		268,000
	興行	平日	153,200	205,200	314,600	322,800	467,800		577,200
		土日祝	199,100	266,700	408,900	419,600	608,100		750,000
トレーニングルーム		1,000	1,400	1,400	2,400	2,800		3,800	
平沼記念レストハウス	時間帯	A 午前9時から 正午まで	B 正午から 午後5時まで	C 午後5時から 午後10時まで	D 午前9時から 午後5時まで	E 午後1時から 午後10時まで		1日 午前9時から 午後10時まで	
	特別室	1,800	2,400	2,800	4,200	5,200		7,000	
	1号室	1,300	1,800	2,200	3,100	4,000		5,300	
	2号室・3号室	1,500	1,900	2,400	3,400	4,300		5,800	
	時間帯	A 午前9時から 正午まで	B 正午から 午後2時まで	C 午後2時から 午後4時まで	D 午後4時から 午後6時まで	E 午後6時から 午後8時まで	F 午後8時から 午後10時まで	1日 午前9時から 午後10時まで	
	4号室	2,000	1,500	1,500	1,500	2,000	2,000	8,000	

- この表において、休日とは、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日をいう。
- ホールの利用に伴う準備又は後始末を行うため当該利用時間を超えて供用時間の範囲内においてホールを利用する場合の利用料金は、利用者の利用区分に応じて当該準備又は後始末を行う時間に係る時間帯の利用料金に10分の6を乗じて得た額とする。
- スポーツ大会で舞台を利用する場合は、「各種集会、催しその他これらに類する行事を行うとき」の利用区分を適用する。
- 天井照明の利用料金はホールの利用料金に含まれている。ただし、「スポーツ練習を行うとき」でホールを利用する場合は、2分の1の天井照明を用いるものとする。
- 「スポーツ練習を行うとき」でホールを利用する場合は、音響設備及び照明機材を利用することができない。

※1 利用区分について

入場料を徴収する場合	有料非興行	営利目的でないもの。
	興行	その他興行全般。
入場料を徴収しない場合	スポーツ練習	電光式得点表示器・湯シャワーを利用しないもの。
	スポーツ大会	舞台・舞台装置を利用しないもの。
	各種集会 営業宣伝	舞台・舞台装置を利用するもの。 営業及び宣伝を目的としたもの(冠大会・看板を設置するもの等)。

- 利用料金とは、貸切利用料金・附帯設備利用料金の合計額です。
- 利用時間帯については、会場の準備、後始末にかかる時間を含みます。
- トレーニングルームのみの単独利用はできません。
- 平沼記念レストハウスの第4号室については、A区分からF区分までを複数利用した場合、1日の利用料金(8,000円)を超えたときは、1日の利用料金(8,000円)を上限とします。

2 平沼記念レストハウス附帯設備利用料金一覧 ※金額は税込

附帯設備名	1回の利用料金(円)	回数のおえ方 ※1	備考
ビデオデッキ・テレビ(34型)一式	500	午前・午後・夜間	第4号室を除きます
ダイレクトプロジェクター(OHP)・スクリーン一式	500	午前・午後・夜間 またはA~F	
音響設備一式	500	A~F	第4号室に限ります

※1 付帯設備利用の「1回」とは、午前9時から正午まで、正午から午後5時まで又は午後5時から午後10時までの利用をいい、午前9時から午後5時まで及び1時から午後10時までの利用については2回、午前9時から午後10時までの利用については3回とみなします。

3 本館附帯設備利用料金一覧 ※金額は税込

区分	附帯設備名	1回の利用料金(円)			回数の数え方 ※1	備考
		スポーツ練習 スポーツ大会 各種集会	営業宣伝 有料非興行	興行		
舞台設備 及び 器具	金びょうぶ	800	1,000	2,000	午前・午後・夜間	
	演壇(大)	480	600	1,200	午前・午後・夜間	
	演壇(小)	160	200	400	午前・午後・夜間	
	山台	120	150	300	午前・午後・夜間	
	指揮者台	240	300	600	午前・午後・夜間	
	譜面台セット	400	500	1,000	午前・午後・夜間	最大10台
	オーケストラ用いす	400	500	1,000	午前・午後・夜間	最大10脚
	ピアノ	5,000	5,000	5,000	午前・午後・夜間	調律は除く
	エプロンステージ	4,800	6,000	12,000	午前・午後・夜間	
	その他舞台設備及び器具(1個)	100	100	200	午前・午後・夜間	
音響設備 及び 器具	拡声装置Aセット	4,800	6,000	12,000	午前・午後・夜間	マイクロホン2本
	拡声装置Bセット	7,200	9,000	18,000	午前・午後・夜間	マイクロホン2本
	拡声装置Cセット	10,400	13,000	26,000	午前・午後・夜間	マイクロホン2本
	簡易音響器具セット	4,800	6,500	12,000	午前・午後・夜間	ワイヤレスマイク2本、CD、MD、カセット
	マイクロホン	800	1,000	2,000	午前・午後・夜間	
	ワイヤレスマイクロホンAセット	800	1,000	2,000	午前・午後・夜間	on/offスイッチ付
	ワイヤレスマイクロホンBセット	1,600	2,000	4,000	午前・午後・夜間	
	CDプレーヤー	400	500	1,000	午前・午後・夜間	
	MDプレーヤー	400	500	1,000	午前・午後・夜間	
	テープレコーダー	400	500	1,000	午前・午後・夜間	
	録音	400	500	1,000	午前・午後・夜間	
	インカムセット	2,400	3,000	6,000	午前・午後・夜間	子機最大10台
	移動調整卓A	1,600	2,000	4,000	午前・午後・夜間	12CH
	移動調整卓B	4,000	5,000	10,000	午前・午後・夜間	16CH
移動調整卓C	4,800	6,000	12,000	午前・午後・夜間	24CH	
その他音響設備及び器具(1個)	100	100	200	午前・午後・夜間		
照明設備 及び 器具	照明Aセット	4,800	6,000	12,000	午前・午後・夜間	ボーダーライト ロアーホリゾンライト アッパーホリゾンライト
	照明Bセット	38,000	38,000	38,000	午前・午後・夜間	Aセット スポットライト1KW×50個 調光装置A 白熱灯
	照明Cセット	60,000	60,000	60,000	午前・午後・夜間	エフェクトマシーン、ミラー ボール、クセノピンスポットラ イトを除く全ての照明設備
	エフェクトマシーン	960	1,200	2,400	午前・午後・夜間	
	ミラーボール	560	700	1,400	午前・午後・夜間	
	スポットライト1KW	480	600	1,200	午前・午後・夜間	
	スポットライト500W	240	300	600	午前・午後・夜間	
	クセノピンスポットライト	4,000	5,000	10,000	午前・午後・夜間	
	調光装置A	9,600	12,000	24,000	午前・午後・夜間	20本以内
	調光装置B	16,000	20,000	40,000	午前・午後・夜間	20本以上
	白熱灯	5,600	7,000	14,000	午前・午後・夜間	
	その他の照明設備及び器具(1個)	100	100	200	午前・午後・夜間	

3 本館附帯設備利用料金一覧 ※金額は税込

区分	附帯設備名	1回の利用料金(円)			回数の数え方 ※1	備考
		スポーツ練習 スポーツ大会 各種集会	営業宣伝 有料非興行	興行		
体育 設備 及び 器具	鉄棒(体操競技用)	360	450	900	1日	
	つり輪	520	650	1,300	1日	
	平行棒	520	650	1,300	1日	
	あん馬	520	650	1,300	1日	
	跳馬	520	650	1,300	1日	
	平均台	160	200	400	1日	
	段違い平行棒	520	650	1,300	1日	
	体操競技用床	1,600	2,000	4,000	1日	
	新体操用床	1,600	2,000	4,000	1日	
	体操マット(1枚)	64	80	160	1日	
	とび箱	160	200	400	1日	
	鉄棒(体操練習用)	160	200	400	1日	
	バスケットボール用具一式	800	1,000	2,000	1日	一面あたり(ゴール1対・得点板)
	バレーボール用具一式	480	600	1,200	1日	一面あたり(支柱1対・ネット・得点板)
	ハンドボール用具一式	480	600	1,200	1日	一面あたり(ゴール1組・得点板)
	テニス用具一式	480	600	1,200	1日	一面あたり(支柱1対・ネット・得点板)
	バドミントン用具一式	80	100	200	1日	一面あたり(支柱1対・ネット・得点板)
	卓球台一式	160	200	400	1日	1台あたり(得点板・ネット・サポート)、防球ネット
	ボクシングリング用具一式	3,200	4,000	8,000	1日	
	レスリング用具	480	600	1,200	1日	キャンパス・下敷きマット
柔道畳一式	1,600	2,000	4,000	1日	50畳あたり・赤畳含む	
ダンス用パネル一式	2,000	2,500	5,000	1日	50畳あたり	
電光式得点表示器	4,000	5,000	10,000	1日	一操作あたり	
軽スポーツ用具(1個)	240	300	600	1日		
その他体育設備及び器具(1個)	100	100	200	1日		
その他 設備 及び 器具	シャワー(男女一式)	2,000	2,000	2,000	1時間	
	特別いす	320	400	800	午前・午後・夜間	10脚単位で貸出
	1人掛け補助いす	480	600	1,200	1日	60脚あたり ※2※3
	3人掛け補助いす	1,200	1,500	3,000	1日	50脚あたり ※3
	折りたたみ机	480	600	1,200	午前・午後・夜間	10台単位で貸出
	仮設スタンド	24,000	30,000	60,000	1日	パネル・角材・階段
	式典用じゅうたん	400	500	1,000	1日	
	床(館内)	4,000	4,000	4,000	1日	1区画(7.2㎡以内) ※4
	床(前庭)	4,000	4,000	4,000	1日	1区画(7.2㎡以内) ※4
	床(飲食物販売)	12,000	12,000	12,000	1日	1区画(7.2㎡以内) ※4
	広告	500	500	500	1日	1.0㎡(1日)
	持込器具	5,000	5,000	5,000	1日	
	冷房	4,000	4,000	4,000	1時間	ロビーを含む
暖房	12,000	12,000	12,000	1時間	ロビーを含む	
その他設備及び器具	100	100	200	1日		

※1 付帯設備利用の「1回」とは、午前9時から正午まで、正午から午後5時まで又は午後5時から午後10時までの利用をいい、午前9時から午後5時まで及び午後1時から午後10時までの利用については2回、午前9時から午後10時までの利用については3回とみなします。

※2 1人掛け補助いすは、20脚までは無料です。それ以上は、60脚単位での貸出となります。

※3 1人掛け補助いす及び3人掛け補助いすは、利用日に連続2回利用する場合で観客席等の入場者を入れ替えしないときは、1回の利用料金とします。

※4 この表において「床」とは、物品販売等でロビー等を利用する場合の“場所”をいいます。「飲食物販売」の床料金は、館内・前庭とも同額です。

※5 利用区分「スポーツ練習」で利用する場合は、音響設備及び照明機材を利用することはできません。

4 本館利用時間帯を超えて利用する場合の貸切利用料金一覧 ※金額は税込

利用区分	時間帯		1時間あたりの料金 (円)
	平日	土・日・休日	
スポーツ練習を行うとき	平日	9時以前	1,133
		22時以降	1,900
	土・日・休日	9時以前	1,333
		22時以降	2,275
スポーツ大会を行うとき	平日	9時以前	5,500
		22時以降	7,125
	土・日・休日	9時以前	6,600
		22時以降	8,550
各種集会、催し、その他 これらに類する行事を行うとき	平日	9時以前	6,266
		22時以降	8,100
	土・日・休日	9時以前	7,500
		22時以降	9,700
営業宣伝を目的とする行事、その他 これに類する行事を行うとき	平日	9時以前	15,200
		22時以降	19,950
	土・日・休日	9時以前	18,233
		22時以降	20,833
興行を目的としない行事を行うとき	平日	9時以前	19,733
		22時以降	31,350
	土・日・休日	9時以前	23,666
		22時以降	37,600
興行を目的とする行事を行うとき	平日	9時以前	51,066
		22時以降	78,125
	土・日・休日	9時以前	66,366
		22時以降	78,125

- 1 会場準備・会場撤去等を行う大がかりな行事を計画される場合は、事前におたずねください。
- 2 行事に伴う会場準備・会場撤去・清掃などの費用は、貸切利用料金・附帯設備利用料金には含まれません。
- 3 会場準備または後始末のみを行う場合の利用料金は、利用時間帯区分の、当該貸切利用料金の5割減とします。ただし、会場準備でリハーサルを行う場合は、当該貸切利用料金となります。

5 駐車場利用料金一覧 ※金額は税込

駐車場	台数	料金	備考
乗用車専用	第1駐車場	15台	24時間駐車場・コイン パーキング方式
	第2駐車場	14台	
大型車両専用	第3駐車場	5台	12,000円/1日(12時間以上)/1台の適用可能

- 1 行事開催に伴う車両の利用については、事前におたずねください。
- 2 第1および第2駐車場利用時間は、24時間です。当館利用者に限らず、どなたでも利用が可能です。
- 3 第3駐車場の利用は、事前申請が必要です。

6 バイク駐輪場利用料金一覧 ※金額は税込

バイク専用	専用駐輪場	13台	100円/1時間/1台	24時間コインパーキング方式
-------	-------	-----	-------------	----------------

I 3 現在の横浜文化体育館の概要 (4) 利用料金
7 利用者支援サービス料金表 ※金額は税別

1 養生シート全面張り作業

実施内容	時間	人数	料金(税別)	備考
設営	1.5時間	8	238,100	テープ等消耗品を含む
撤去	1.5時間	8		

2 養生シート全面張り作業+客席設営(2000席まで)

実施内容	時間	人数	料金(税別)	備考
設営	4時間	10	285,800	テープ等消耗品を含む
撤去	3時間	8		

3 養生シート全面張り作業+客席設営(3000席まで)

実施内容	時間	人数	料金(税別)	備考
設営	4.5時間	12	333,400	テープ等消耗品を含む
撤去	3.5時間	10		

4 養生シート全面張り作業+客席設営(3000席まで)+平台組み(1,112席)

実施内容	時間	人数	料金(税別)	備考
設営	8時間	12	381,000	客席3,000席のうち1,112席が 平台上の場合
撤去	4時間	10		

5 養生シート全面張り作業+客席設営(3000席まで)+平台組み+張り出し組み

実施内容	時間	人数	料金(税別)	備考
設営	9時間	14	428,600	客席3,000席のうち1,112席が 平台上の場合
撤去	4.5時間	12		

6 音響・照明・舞台技術者

実施内容	時間	料金(税別)	備考
音響・照明・舞台技術者 (1名あたり)	9:00~22:00以内	31,500	8時間以内(休憩時間含む)
	追加1時間単位	5,000	継続して行う場合休憩含む

7 警備業務

実施内容	時間	料金(税別)	備考
警備業務 (1名あたり)	9:00~22:00以内	19,100	9時間以内(休憩時間含む)
	追加1時間単位	5,000	継続する場合休憩時間含む

8 清掃業務(3名につき)

実施内容	時間	料金(税別)	備考
諸室清掃、ごみ回収・分別 アリーナ清掃、客席清掃等	9:00~22:00以内	31,500	6時間まで
	追加1時間単位	5,000	継続する場合休憩時間含む

9 その他

実施内容	時間	料金(税別)	備考
利用諸室内養生等	9:00~22:00以内	基本料金別表参照	諸室の利用状況が内容により異なるため、基本料金以外の養生等は 消耗品含めた経費を別途見積

※朝7時以前、深夜24時以降については追加料金が発生します。

エントリーシート

〈 横浜文化体育館再整備に向けたサウンディング調査 〉

1	法人名			
	法人所在地			
	グループの場合の構成法人名			
	対話の担当者	氏名		
		所属部署		
Eメール				
電話				
2	下記の候補日から、対応が可能な時間帯にチェックを入れて下さい。 (※3つ程度の希望日時をご提示ください。対話の実施期間は12月15日までとじていますが、できるだけ12月1日～5日での調整をお願いします)			
	12月1日(月)	<input type="checkbox"/> 午前	<input type="checkbox"/> 午後	<input type="checkbox"/> どちらも可
	12月2日(火)	<input type="checkbox"/> 午前	<input type="checkbox"/> 午後	<input type="checkbox"/> どちらも可
	12月3日(水)	<input type="checkbox"/> 午前	<input type="checkbox"/> 午後	<input type="checkbox"/> どちらも可
	12月4日(木)	<input type="checkbox"/> 午前	<input type="checkbox"/> 午後	<input type="checkbox"/> どちらも可
	12月5日(金)	<input type="checkbox"/> 午前	<input type="checkbox"/> 午後	<input type="checkbox"/> どちらも可
	12月8日～15日	追加対話のための予備日(上記候補日でご都合がつかない場合は、こちらの日程から選んでください)		
3	対話出席予定者氏名	所属法人名・部署・役職		

- ※ 対話の実施時間は、午前の部 9～12時、午後の部 13～17時とします。
- ※ 申込期間終了後、事務局から実施日時及び場所をEメールでご連絡します。
(ご希望に添えない場合もありますので、ご承知おきください。)
- ※ 対話への出席者は、1グループにつき5名以内としてください。

(様式1) 対象：事業の実施主体となる意向を有する法人又は法人のグループ

事業スキーム

1 事業実施の体制

- (1) 想定される事業実施体制

2 現横浜文化体育館敷地

- (1) 想定される興行利用
- (2) 望ましい借地期間
また、定期借地方式が望ましくない場合の理由とその他の手法について
- (3) アリーナ施設を民間所有として管理運営を実施することが困難と考える場合の理由
また、その他のアイデアについて
- (4) 民間施設の用途・規模・配置、その相乗効果・波及効果
- (5) 市利用枠について、市に求める年間の買い取り日数及び金額

3 旧横浜総合高校敷地

- (1) 望ましい借地期間
また、定期借地方式が望ましくない場合の理由とその他の手法について
- (2) サブアリーナ施設部分の建設費の延払いについて考えられる手法や条件等
- (3) サブアリーナ施設と民間施設を一体的に建設することが困難と考える場合の理由
また、その他のアイデアについて
- (4) 民間施設の用途・規模・配置、その相乗効果・波及効果
- (5) サブアリーナ施設の想定される建設費（㎡単価）をア～オから選択
ア 30万円／㎡未満 イ 30～40万円／㎡ ウ 41～50万円／㎡
エ 51～60万円／㎡ オ 61万円／㎡以上

その他（必要に応じてご記入ください）

※ 質問事項に対して、具体的かつ簡潔に回答してください。（A4版3ページ程度を目安）
（質問事項は削除し、回答のみ記入してください）

※ 配置については、両事業用地をまとめて別紙を作成していただいても結構です。

(様式2) 対象：事業の実施主体となる意向を有する法人又は法人のグループ

4 管理運営

(1) アリーナ施設とサブアリーナ施設の効果的な連携方法

その他（必要に応じてご記入ください）

※ 質問事項に対して、具体的かつ簡潔に回答してください。（A4版1ページ程度を目安）
（質問事項は削除し、回答のみ記入してください）

(様式3) 対象：事業の実施主体となる意向を有する法人又は法人のグループ

5 事業スケジュール

(1) 旧横浜総合高校敷地を先行整備し、後から現横浜文化体育館敷地を整備すると想定した場合のスケジュール

		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度
旧横浜総合 高校敷地	設計							
	建設							
現横浜文化 体育館敷地	設計							
	建設							

※ それぞれの事業規模等を勘案し、設計、建設等に必要なスケジュールをご教示ください。

※ 事業契約は、平成28年度当初に締結する想定としてください。

(2) 両事業用地での一体事業が困難と考える場合の理由と望ましいスケジュール等について
(A4版横又はA3版横使い。表計算ソフトでも結構です)

その他 (必要に応じてご記入ください)

(様式4) 対象：事業の実施主体となる意向を有する法人又は法人のグループ

6 周辺まちづくりへの貢献

(1) 当該事業用地に留まらない周辺地区との関係や地域貢献の考え方

その他（必要に応じてご記入ください）

※ 質問事項に対して、具体的かつ簡潔に回答してください。（A4版1ページ程度を目安）
（質問事項は削除し、回答のみ記入してください）

(様式5) 対象：事業の実施主体となる意向を有する法人又は法人のグループ

7 想定案以外のアイデア

- (1) 想定案以外のアリーナ施設・サブアリーナ施設・民間施設の配置イメージ

- (2) その他のご提案等

※ 質問事項に対して、具体的かつ簡潔に回答してください。(A4版1ページ程度を目安)
(質問事項は削除し、回答のみ記入してください)

(様式6) 対象：民間施設へ入居の意向を有する法人

8 入居条件等

- (1) 民間施設の用途・規模・配置、その相乗効果・波及効果
- (2) 入居条件（施設所有可能か、テナントの場合の契約年数等）
- (3) 当該事業用地に留まらない周辺地区との関係や地域貢献の考え方
- (4) その他のご提案等

※ 質問事項に対して、具体的かつ簡潔に回答してください。（A4版2ページ程度を目安）
（質問事項は削除し、回答のみ記入してください）

【参考資料】横浜文化体育館再整備における施設機能イメージ

※ 今回のサウンディングのために施設の機能イメージをまとめたものであり、実際に再整備する施設内容をお示ししたものではありません。

	現横浜文化体育館敷地 (アリーナ施設規模：17,000～19,000 m ² 程度)	旧横浜総合高校敷地 (サブアリーナ施設規模：12,000～14,000 m ² 程度)
3階		
2階		
1階		
地階		